



実践的な科学教育に力を入れる玉野高は23日、生徒有志が取り組む研究「モデルロ

## 玉野

活動の発表会を校内で開いた。1〜3年の14人が「県産果実を用いたバイオマス

発電」「ギター演奏サポー

ト装置の開発」「モデルロ

ケットの製作」などユニー

# 高校生充実の学習発表

## 多彩な実験や研究成果

クな実験や取り組みの成果を披露した。

発表会は、高校での学習

に意欲を持ってもらおうと

1年生向けに企画した。柔

道場、体育館の計10カ所に

ブースを設け、研究内容を

紹介するポスターを掲示。

研究に携わった生徒が、訪

れた1年生に説明した。

タコの吸盤の構造を調べ

た2年藤井愛子さん(17)は

「理科の授業でタコの足を

顕微鏡で見た際に「すごい

と感じて研究を始めた」と

語り、興味が研究に発展す

ることを強調。「どんなこ

ともまずは挑戦してみ

て」と呼び掛けた。

研究成果を伝えるプレゼ

ンテーションについて外部

講師(大学教授)から学んだ

ことを発表した1年松永翼

さん(16)は「これからもい

ろいろな研究に取り組みた

い」と話した。(内田貴大)